

タイトル 「小さな声でも聞いて行こう！【鶴見総合高校で PTA のイメージを調査・解析】
～これからの活動のためにたくさんの意見を聞く。保護者対象アンケートの実施～」

学校名 神奈川県立鶴見総合高等学校 P T A

研究テーマ 「P T Aに対する意識について」

鶴見総合高校について

本校は、寛政高校と平安高校の2校が再編統合され、鶴見総合高等学校として平成16年(2004年)4月に第1回入学式を挙げてから、昨年度で20周年の節目を迎えました。また本年は、本校の前身である平安高校が、昭和58年(1983年)に現在の校地において開校してから41年目になります。

本施設は、本県が平成12年度から進めている県立高校改革推進計画に基づいて、平安高校と寛政高校との統合により、総合学科の高校として、平成16年度に開校したものです。

増築棟は、総合学科の科目を展開する上で必要となる施設整備を目的に、1階に造形室、美術室及び総合実習室、2階にCG室、表現実習室及び記念室を配置しました。総合実習室は、6畳の和室とダイニングキッチンという日本の一般家庭のような雰囲気の部屋とし、本校に在籍する様々な国籍をもった生徒が、生活習慣等を通じて日本文化を学ぶことができるよう配慮しました。

総合学科

特徴的な授業として未来探索があります。

鶴見総合高校では「未来探索」という授業をとおして、一人ひとりの将来像を明確にしていきます。1年次の「産業社会と人間」と2・3年次の「総合的な探究の時間」をあわせて、本校では「未来探索」と呼び、略称の「みらたん」で親しまれています。

「キャリア教育」の考え方にもとづき、3年間の学習をとおして、自分の進路実現にむけた準備をすると同時に、社会人として必要な知識や態度を身につけます。



「挑戦する精神が未来を拓く」

統合再編に向けて、寛政の国際理解教育、平安の職業研究の特色を融合し、総合学科として「未来探索」が始動しました。

開校当初から、保護者、地域の熱意に支えられて学校を育てていただいています。(副校長)



外国につながるのある生徒への支援

鶴見総合高校には、毎年全校で 100 名ぐらいの外国につながるのある生徒がいます。そのため、授業をはじめ学校生活全般にわたって色々な支援をおこなっています。鶴見総合高校では、さまざまな文化との出会いを大切にしたいと考えています。



◎ 支援内容

日常生活での支援

通訳手配…三者面談、

合格者説明会など

翻訳…基本的なルールや

必要書類の母語訳

ふりがな…学校からのお知らせなど



◎ 学習への支援

個別対応授業…日本語のレベルに合わせて少人数で授業をおこなっています。

「日本語」の授業…日本語のレベルに合わせて授業をおこなっています。母語の授業…中国語・ポルトガル語でおこなっています。

キーワード母語訳…教科の学習で重要な語句の母語訳をしています。

学習サポート…日本語学習やその他学習全般を本校教員や外部のサポーターが支援します。

日本語能力試験受験へのサポート…試験は、年2回実施されています。

※専門学校進学には N2、短大・大学には N1 取得が目安となります。

◎ 受け入れ体制

各年次に支援の中心になっている先生がいます。



先生より

総合学科として、100 を超える系列選択科目が開講され、さらに外国にルーツがある生徒が数多く通う本校は、全ての生徒が個性や独創性を育むとともに、学校生活の中で多様性や多文化共生に対する理解を深め、その実践者として社会に貢献できる人づくりを目指しています

先生より

本校では、生徒一人ひとりに丁寧に向き合い、生き抜くための力の育成を目指しています。また、生徒が夢を実現できるよう、教職員がサポートしています。生徒たちが鶴見総合で未来を創れるよう、生徒たちの将来に貢献できる教育活動を展開します。

PTA活動

◎ 現在の活動

体育祭…ドリンク提供 七夕…笹飾りの用意

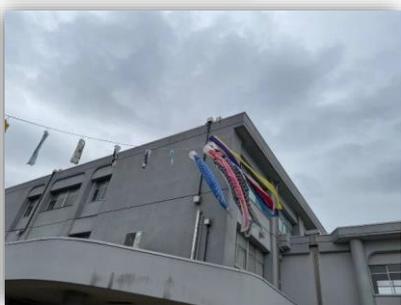
文化祭…おにぎり・豚汁・ペットボトル販売

クリスマス…ツリーの飾りつけ

お正月…門松の飾りつけ

広報誌発行…広報誌に関する素材収集や編集

卒業式 コサージュ作成



◎ これからの取り組み

共働きが増えてきた現代では、PTA 非加入世帯の増加、そして役員の選出が大きな課題となっています。そこで、鶴見総合高校 PTA は保護者向けにアンケートを作成しました。

現在 PTA で活動するメンバーが考えたリアルな質問で、現代の保護者の具体的な言葉を集めることが目的です。この内容をもとに、今後の活動について検討・見直しをしてより良い PTA を作っていただけたいと思っています。

PTA の活動を通し、保護者同士の交流や先生との情報交換を行い、多文化共生の環境のなか「何があっても負けない人間力」の育成をサポートしています。

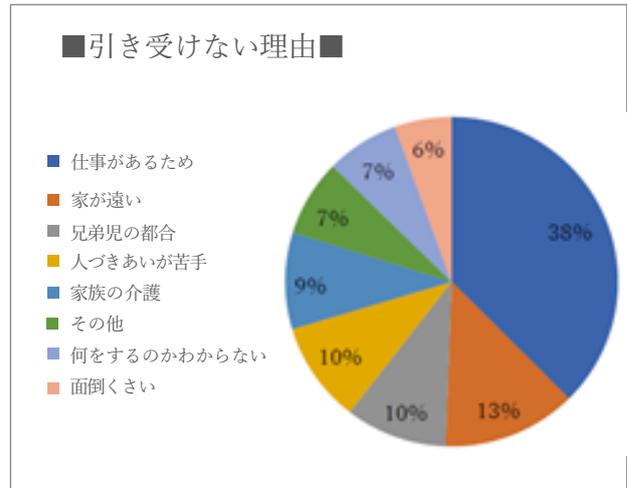
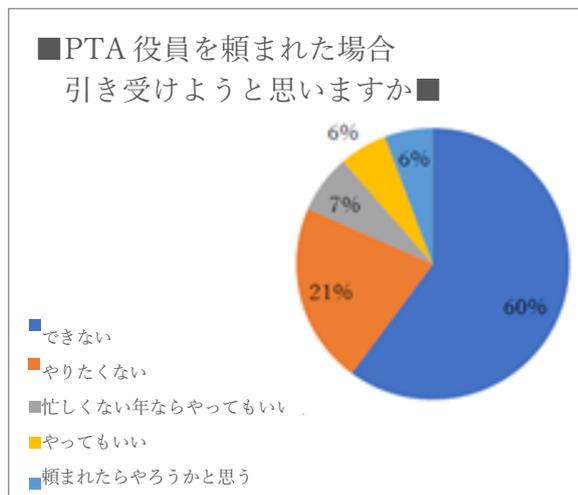
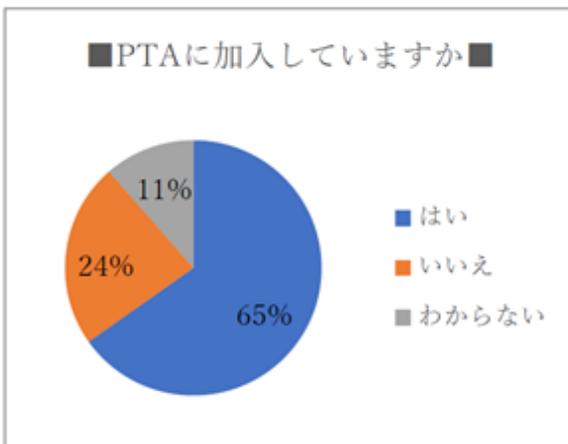
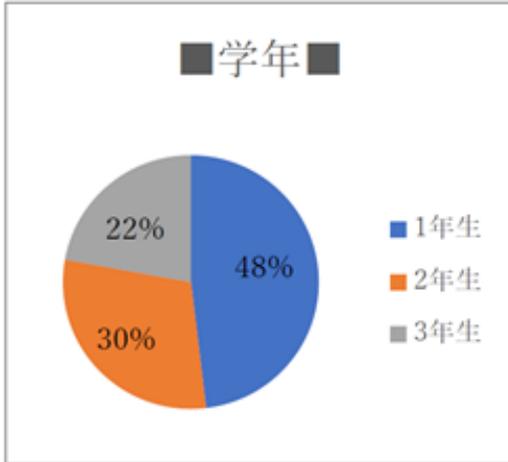
役員の負担を分散し、負担のない活動を目指しながら、新しい役員やサポーターの選出方法を学校と相談して今後も PTA の活動を続けていけるように努力していこうと思っています。



アンケート結果

回収率	23%
家庭数	700
回答数 web	147
回答数 紙	12

※欠席、web システム未登録などを加味して概算の家庭数で計算しています



【その他の意見】

日本語喋れない

病気治療中の為病気の為

PTA の存在意義がわからないから

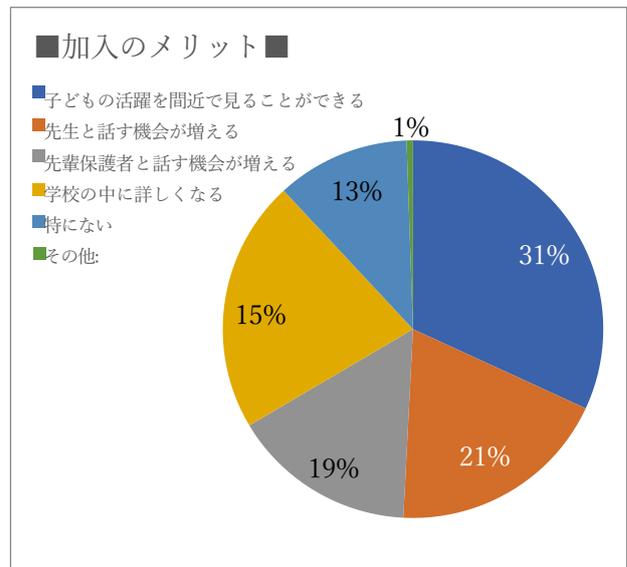
小学校での本部役員を引き受けている為

母子家庭の為仕事を休めない

施設のため

遠方

小学校で PTA 3 年、委員会 4 年やったから時間がありません。



【その他の意見】

以前上の子の時に経験済みだから

■PTA を引き受けてもらうためにはどうしたらいいと思いますか■

内容を具体的に提示する（SNS などを利用、内容、頻度、曜日、メリット、デメリット、選出方法）全員に説明する	20
活動の簡略化（来校回数の低減、個人の負担軽減）	12
わからない	6
やりたい人・やれる人でやればいい	5
Zoom（オンライン）で話し合う	4
全員参加式にする（都度ボランティアを募集・1日単位で活動・途中参加OK）	4
役員に賃金を払う	4
メリットの提示	3
難しい	3
特典追加（内申UP、卒業式の席）	2
無理してまでやらなくていい（外部委託）	2
子供がくじを引く	1
いい事ばかり話さない	1
時代錯誤	1
子供にやらせる	1
関わる意義を伝える（勉強会など）	1
車で来校できたらいい	1
知り合いと一緒にやる	1
メリットが大きい	1
ない	1

■その他、ご意見をお聞かせください(まとめ)■

引き受けられない理由として、「仕事」「介護、時間が合わない」「人間関係」「入学式の時の説明が分かりづらく、質問をしてもあいまいな返事しかなかった」「楽、簡単、誰でも出来ると話された時不快に感じた（人それぞれ受け取り方は違うと思います）」といったものがあげられました。

その対応として、入学前にプリント配布や入学式での詳しい説明（内容や交通費、任期）、全員に役割を担ってもらい負担を減らす、都度ボランティアを募集する、先生方からもアピールしてもらう、オンラインツールの利用などをもっとやっ

く、メリットを増やすと良いという案をいただきました。また、外部委託を検討・PTA を無くす（義務教育ではないからなくていいのではないかと）という意見も…。

現在役員を引き受けている方からは、大変だと思ったけれど楽しい事の方が多い、PTA 活動を通して学校のことを知ることができるなどの言葉をいただいています。

そして引き受けられないけれど感謝しています、いつもご苦勞様ですと言ったねぎらいの言葉もありました。

■アンケートのまとめ■

回答率から PTA 活動への興味をもっと持ってもらえたらいいなと思いました。

共働きの家庭が増えた事で「できない」が半数を大幅に上回ったこと、また県立の学校は学区が広く来校が難しいという理由もあり、引き受けてもらう事の難しさ、PTA 活動を続けていく大変さを感じました。日本語が得意ではないという意見は、本校ならではだと感じました。そういった部分もうまくフォローし、多文化共生を実現出来たらもっとたくさんの方にかかわっていただけたと考えています。

今回のアンケートから今後の PTA 活動、募集においてヒントになる回答をいただけたのでプリントの配布、SNS やホームページを利用するなど活動に理解をいただけるよう出来る事から少しずつ行っていきたいと思います。

先生より

「生徒の笑顔のために」を形にするために、保護者として、教員としてできることを一緒に活動していけることを期待しております。

新型コロナウイルス感染症の影響が以前よりも軽くなってきている中、さまざまな場面で模索をしながら活動いただいていることがとてもありがたいと思います。

活動だと思いました。



どうしても、教員が力不足で至らない部分がある中、PTA の保護者の方々の力によって対応できることも多々あるかと思います。今年度行われた体育祭では、生徒の水分補給および熱中症防止のために活動をいただき、生徒も最後まで体育祭に取り組むことができました。「生徒の笑顔のために」という言葉が形になった活動だと思いました。

前例踏襲ではなく、生徒のための活動を今後も一緒に継続していきたいです。